ワークシート

フェナキストスコープをつくろう

名

前

『美術資料』P.94・95 動きを楽しむ

年　　　　　　組　　　　　　番

 　 フェナキストスコープは，アニメーションの原型の一つで「驚き盤」とも言います。少しずつ絵を

　変化させた円盤の裏のスリットから，鏡にうつした絵を回転させながら見ると，連続して動いている

かのように見えます。

参考例

(テーマ「ライオンとひょう」)

**1.絵コンテを描きましょう**

フェナキストスコープは，通常12～16コマでつくります。

今回は12コマのアニメーションをつくってみましょう。

下描きは絵の始めと終わりが連続するように考えてつくりましょう。

はじめに1，4，7，10コマ目の絵を考えてから，残りのコマを

つくると動きをつくりやすくなります。

テーマ 「 」

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 7 | 8 | 9 | １０ | １１ | １２ |

**2.円盤に絵を描きましょう**

1. 絵コンテをもとに下描きをします。絵は時計回りに描きます。
2. 裏面を黒いボール紙にのりで貼り付けます。

もしくはこのシートをボール紙にプリントし，

下描きして裏面を黒くぬります。

1. 絵に色をぬります。
2. かわいたら，円盤とスリットを切りぬきます。
3. 中心点を画びょうで割りばしにとめます。
4. 絵を鏡に映して裏面のスリットからのぞきます。

* 画用紙などに，つくりやすい大きさにコピーしてお使いください。